

2027年3月期 第1四半期 決算説明会資料

伯東株式会社
2026年8月17日



東証プライム市場 | 証券コード7433

A thick red diagonal bar.

Part. 1

2027年3月期第1四半期 決算概要

A thick red diagonal bar.

Part. 2

2027年3月期業績・配当予想



Part.1

2027年3月期第1四半期 決算概要

2027年3月期 第1四半期決算概要

- インド・シンガポール子会社(Rabyte社)の新規連結効果や車載関連用途の堅調な推移により、増収増益
- 為替差益の計上も経常利益に寄与

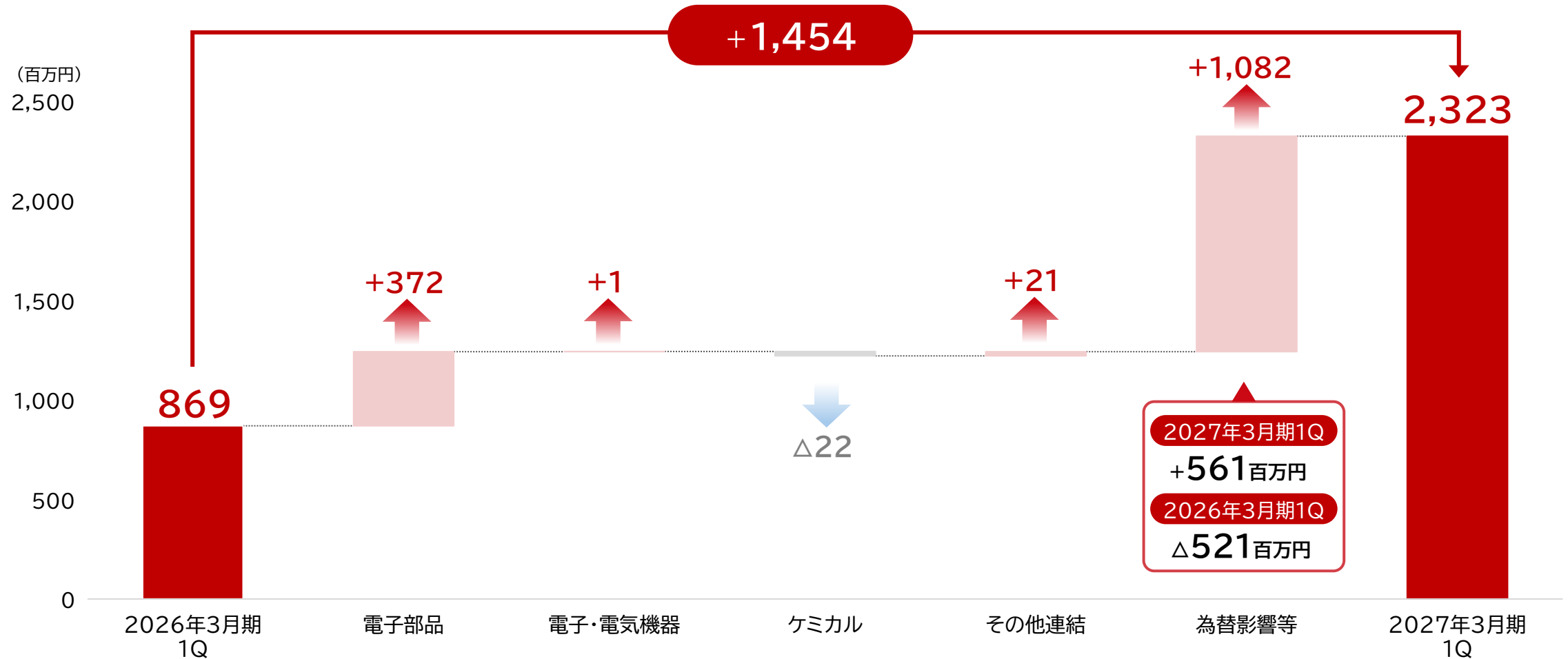
(百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	40,337	54,537	+14,199	+35.2%	車載向け半導体・液晶モジュール関連が堅調、Rabyte社の寄与
売上総利益	5,748	7,989	+2,241	+39.0%	売上総利益率は為替影響(円安)等により改善 前1Q 14.3% ▶ 当1Q 14.6%
営業利益	869	2,323	+1,454	+167.3%	販管費はYoY7.8億円増 (Rabyte社の販管費および同社に係るのれん償却費等)
経常利益	719	2,295	+1,575	+219.1%	支払利息は同2億円増加 前年1Qは為替差損1.7億円、当1Qは為替差益1.6億円を計上
当期純利益	659	1,462	+803	+121.8%	政策保有株式の売却により投資有価証券売却益2.8億円を計上
EPS※	35.03	77.67	+42.64	—	

※ EPS:1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因分析

- 電子部品はRabyte社の利益貢献もあり増益、ケミカルは化粧品基剤出荷減により減益
- 為替影響(円安)により+10.8億円(前期1Q:△5.2億円、当1Q:+5.6億円)



セグメント別業績

- 電子部品は車載関連を中心に堅調に推移、Rabyte社の損益寄与や為替影響もあり増収増益
- ケミカルは海外向け化粧品基剤が前年を下回り減収減益

(百万円)

		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
電子部品	売上高	31,359	44,873	+13,513	+43.1%
	セグメント利益	521	2,021	+1,499	+287.3%
電子・電気機器	売上高	5,341	6,173	+832	+15.6%
	セグメント利益	418	430	+11	+2.8%
ケミカル	売上高	2,737	2,639	△ 97	△ 3.6%
	セグメント利益	151	136	△ 15	△ 10.1%
その他	売上高	1,000	948	△ 51	△ 5.2%
	セグメント利益	△ 370	△ 325	+44	△12.1%
合計	売上高	40,438	54,635	+14,196	+35.1%
	セグメント利益	721	2,262	+1,540	+213.5%

電子部品

車載、産業機器、光通信向け電子部品が堅調に推移
Rabyte社の寄与もあり増収増益

電子・電気機器

半導体、AI・データセンター関連の設備投資拡大を背景に、PCB関連機器が伸長し、増収増益

ケミカル

石油・石化、紙パルプ分野は前年並みも海外向け化粧品基剤が前年を下回り、減収減益

連結貸借対照表

- 総資産は35.6億円増加
- 電子部品の需給ひっ迫を背景とした売上伸長に伴い、売上債権・仕入債務が増加し、棚卸資産も減少したことで、運転資本※は6.9億円減少
- 投資有価証券および純資産は、継続して縮減を進めているものの保有株式の株価上昇により増加

(百万円)

	2026年3月期末	2027年3月期 第1四半期	増減額	
総資産	164,484	168,044	+3,560	連結CF参照
現預金	18,957	20,154	+1,197	前4Qに対し売上高が増加 前4Q 451億円 ▶ 当1Q 545億円
売上債権	56,868	59,189	+2,321	
棚卸資産	46,311	46,161	△150	
のれん	16,063	15,761	△302	当1QよりRabyte社に係るのれん償却を開始
投資有価証券	8,557	9,561	+1,004	保有株式の株価上昇による増加
総負債	94,651	97,316	+2,665	
仕入債務	22,551	25,412	+2,861	短期借入金の増加、長期借入金の返済
有利子負債	58,031	57,721	△310	
純資産	69,833	70,728	+895	保有株式の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加
自己資本比率	41.6%	41.2%	—	

※ 運転資本・・・売上債権＋棚卸資産－仕入債務

キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローは税前利益および運転資本の減少等により31億円の収入
- 財務キャッシュ・フローは期末配当金18億円の支払い等により23億円の支出
- その結果、現金・現金同等物は前期末から10億円増加

(百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額
営業キャッシュ・フロー	4,430	3,128	△ 1,302
投資キャッシュ・フロー	175	55	△ 120
財務キャッシュ・フロー	△ 3,732	△ 2,354	+1,378
換算差額	88	254	+166
現金・現金同等物の増減額	961	1,083	+122
現金・現金同等物の 期末残高	15,891	19,833	+3,942

● 当1Q実績の主な内訳

営業キャッシュ・フロー

税前利益: +26億円
 売上債権の増加: △19億円
 棚卸資産の減少: +3.5億円
 仕入債務の増加: +27億円

投資キャッシュ・フロー

投資有価証券の売却: +3億円
 有形・無形固定資産の取得: △1.4億円
 定期預金への預入: △1億円

財務キャッシュ・フロー

借入金が増減: △5億円
 配当金の支払: △18億円



Part. 2

2027年3月期業績・配当予想

業績・配当予想の修正と株式分割

市場の成長性を業績予想に反映するとともに、株式分割により投資家層の拡大と流動性向上を目指す



業績予想の修正

上方修正

売上高

2,275億円

前年同期比 **+25.6%**

営業
利益

96億円

前年同期比 **+57.9%**



株式3分割

1株 ➔ **3株**

2026年10月1日付



配当予想の修正

増配

年間配当
予想額

255円

前年同期比 **+55円**
(株式分割前換算)

2027年3月期 連結業績予想(7/29修正)

- AI・データセンター市場の活況と円安等による影響を踏まえ、売上・利益いずれも上方修正

(百万円)

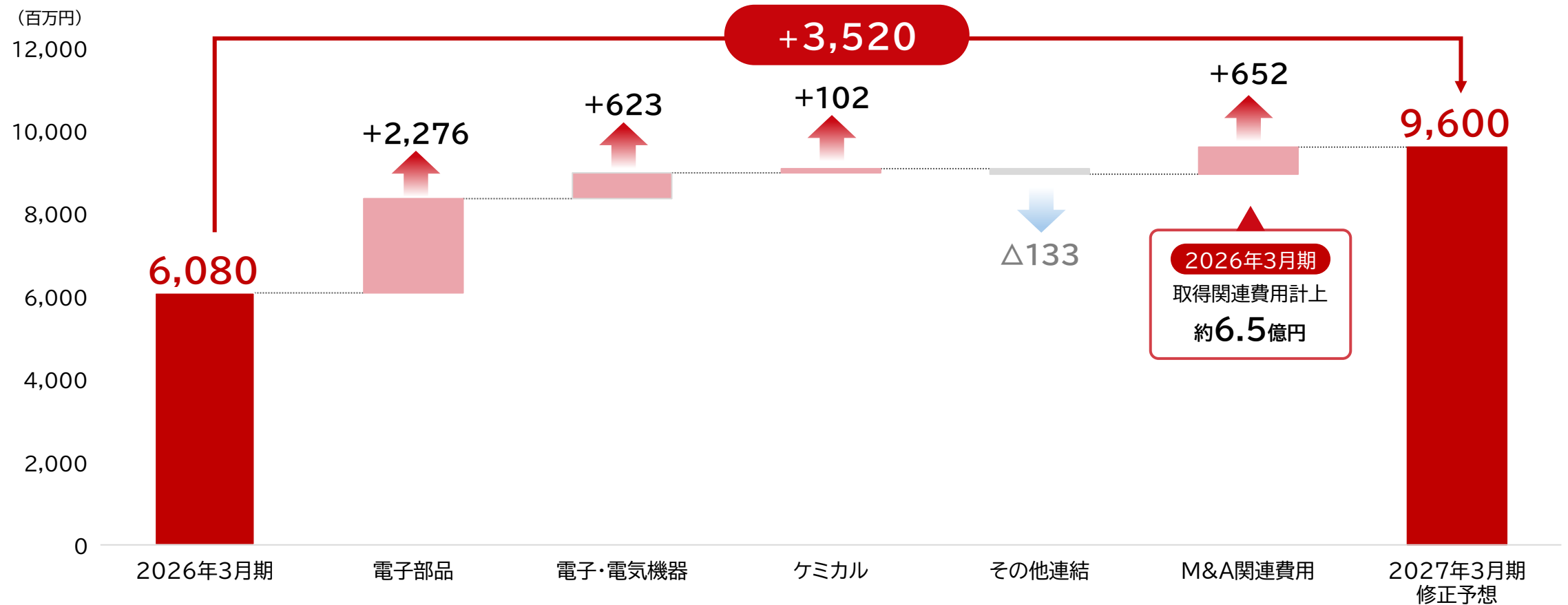
	2026年3月期 実績	2027年3月期 修正予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	181,178	227,500	+46,322	+25.6%
売上総利益	28,080	34,800	+6,720	+23.9%
営業利益	6,080	9,600	+3,520	+57.9%
経常利益	5,579	8,600	+3,021	+54.1%
当期純利益	5,009	6,400	+1,391	+27.7%
EPS※	266.14円	339.95円	73.81円	—
ROE	7.5%	9.3%	1.8pt	—

※ EPS:1株当たり当期純利益

※ 1株当たり当期純利益は株式分割前の株式数で計算しております。

連結営業利益の増減要因(対2026年3月期実績比)

- 電子部品は、AI・データセンター市場の活況による需要増加に加え、Rabyte社の損益寄与等により増益を見込む
- 電子・電気機器は、真空機器・PCB関連機器への引き合いが増加し、下期にかけて売上の伸長を見込む
- 2026年3月期はM&A関連費用6.5億円を計上



上方修正の背景

AI・データセンター市場の活況が、当社扱い商材の需要拡大につながり、売上・利益ともに押し上げ

外部環境

AI・データセンター市場が
活況



需要動向

電子部品事業

需要が増加傾向

- 産業機器向け半導体
- 高速通信用光コンポーネント/
コネクタなどの電子部品

電子・電気機器事業

引き合いが大幅増

- 半導体製造を支える
真空機器・コンポーネント
- ICパッケージ向けPCB関連機器

業績影響

売上高・各利益を上方修正

売上高

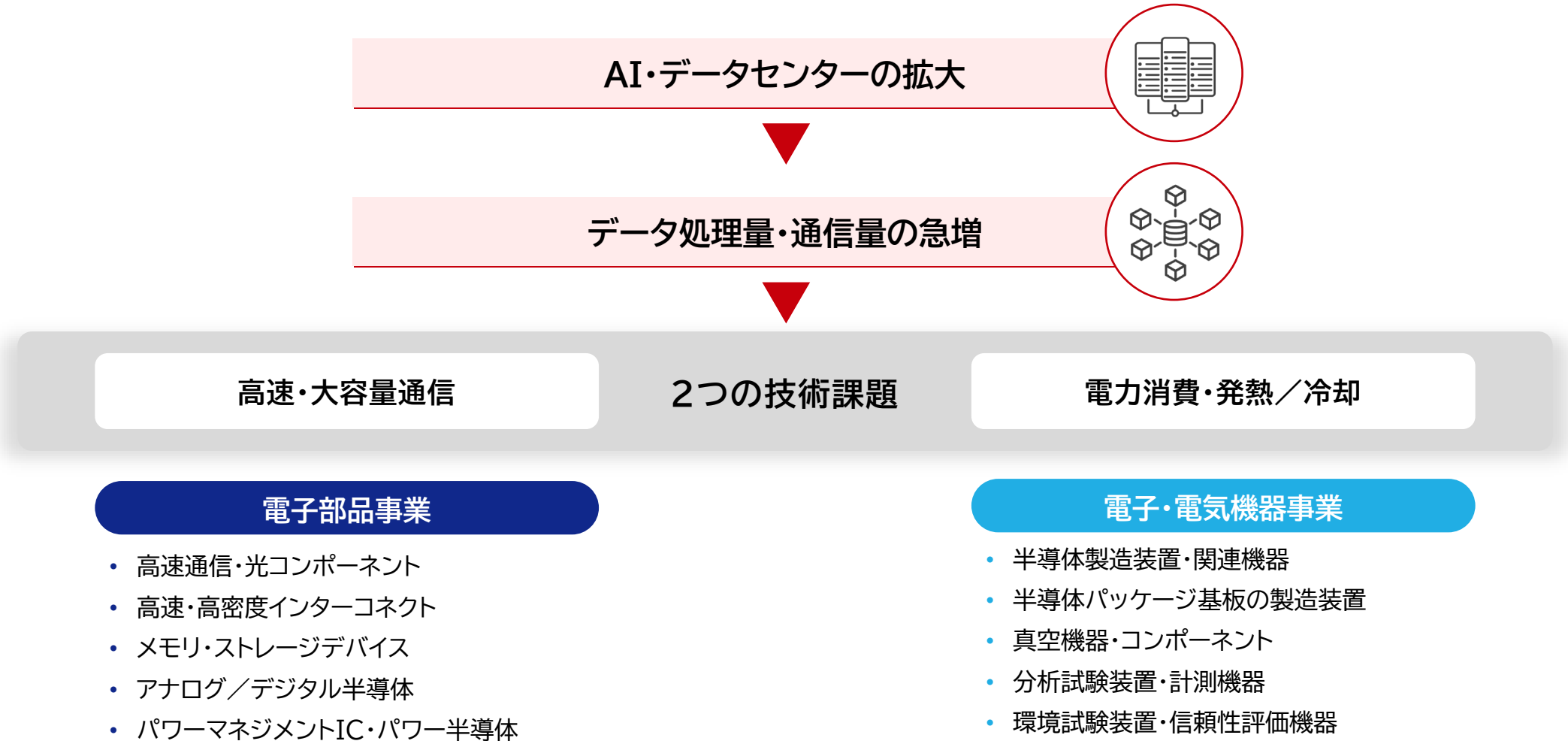
- 案件の一部が2027年3月期中の売上に寄与
- 受注案件の多くはリードタイム長期化により、2028年3月期以降の売上を予定

利益

- 増収による利益増
- 電子部品事業の利益率改善
- 需給バランスの変化に伴う販売価格の改善を通じた、収益性向上

AI・データセンター市場の拡大が生む2つの課題と当社の事業機会

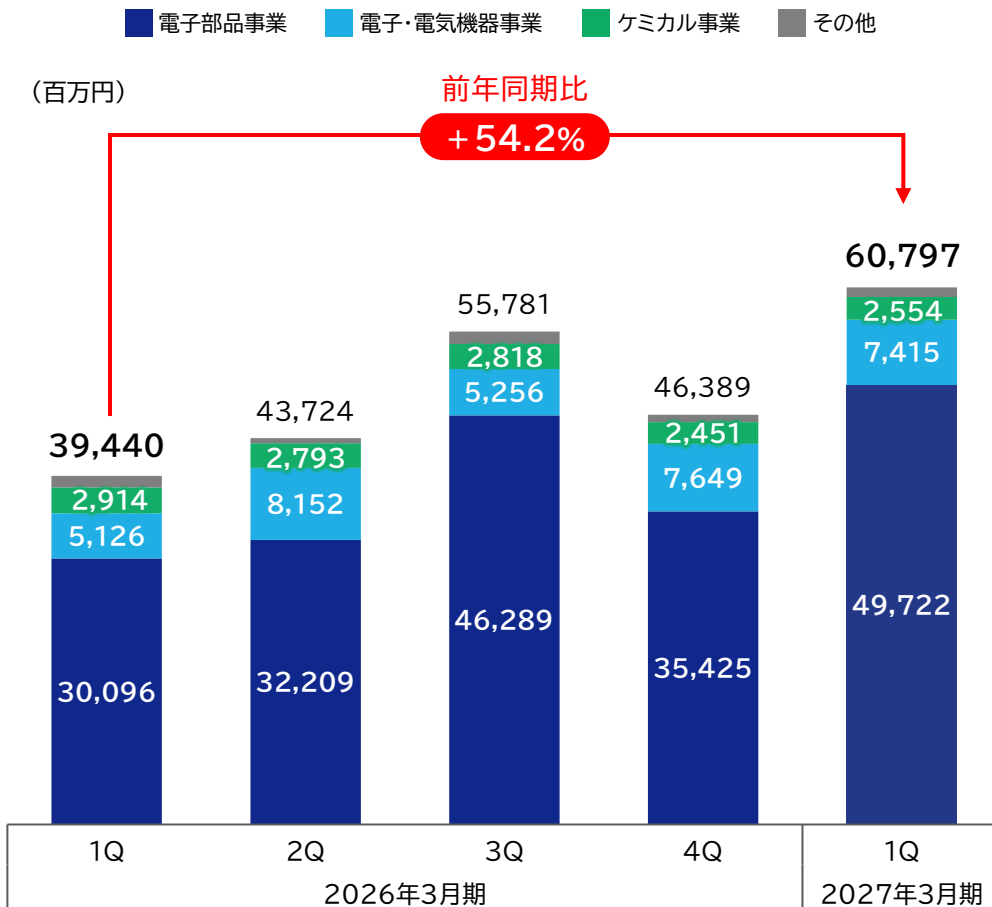
生成AIの普及によりデータ処理量・通信量が急増。“高速・大容量通信”と“電力消費・発熱への対応”が重要な技術課題となる中、当社は電子部品から製造・試験装置まで幅広いソリューションを提供



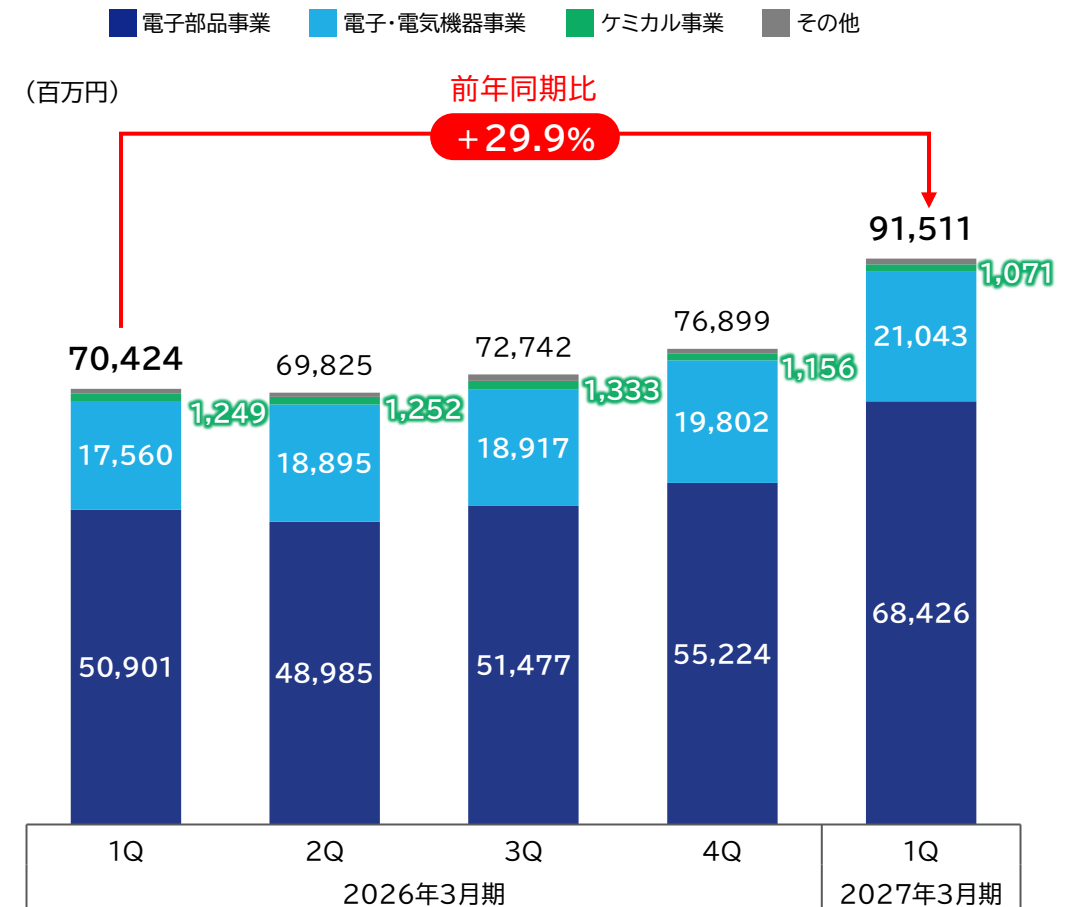
連結受注高・受注残の推移

- AI・データセンター関連需要の拡大や需給環境の変化に伴う先行手配で受注高、受注残ともに2ケタ増
- 電子・電気機器は旺盛な需要が継続し、2028年3月期以降に売上予定の受注残も着実に積み上がる

受注高



受注残

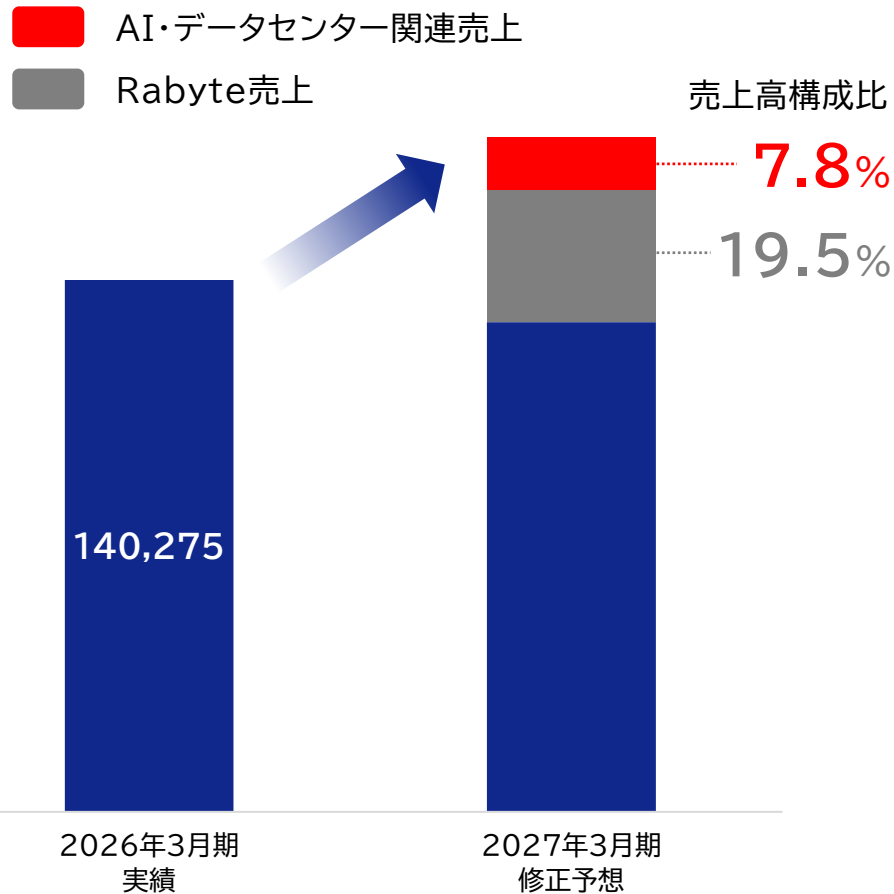


※ Rabyte社の受注高・受注残は含まれておりません

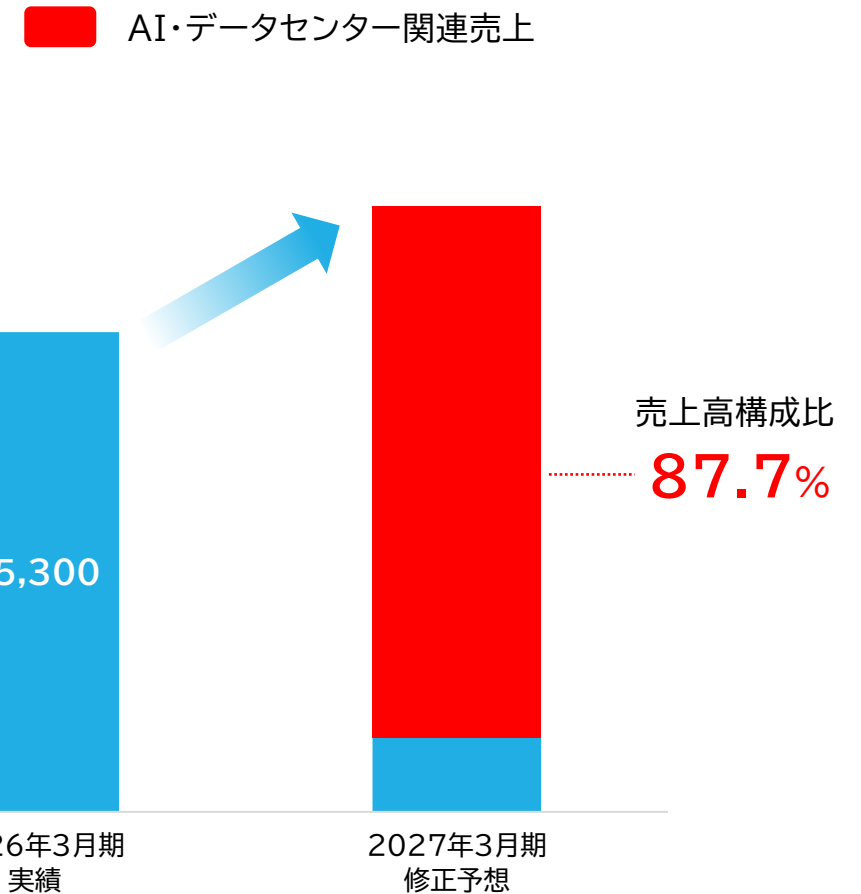
AI・データセンター関連需要の業績寄与

- AI・データセンター関連需要の拡大が今期業績を押し上げ
- 特に電子・電気機器事業では、2028年3月期以降も業績への寄与が継続する見込み

電子部品事業 売上高



電子・電気機器事業 売上高



2027年3月期配当予想(7/29修正)

- 中期経営計画(2026年3月期～2029年3月期)における配当は、配当性向70%(±5%)に加えて、DOE5%を下限として設定
- 2027年3月期は1株当たり年間配当金予想を255円(中間120円、期末135円)に修正(増配)

		2026年3月期	2027年3月期 修正予想
1株当たり配当金 (単位:円)	中間	100	120
	期末	100	135※
	年間	200	255※

配当金総額 (単位:百万円)	年間	3,765	—
配当性向		75.1%	75.0%
純資産配当率(DOE)		5.6%	6.9%

※株式分割前換算

株式分割の概要

分割の目的 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と流動性向上を図る

分割により 増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	21,137,213 株
今回の分割により増加する株式数	42,274,426 株
株式分割後の発行済株式総数	63,411,639 株
株式分割後の発行可能株式総数	162,000,000 株

分割の方法 2026年9月30日(水曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、3株の割合をもって分割

分割の日程

基準日公告日	2026年9月15日(予定)
基準日	2026年9月30日
効力発生日	2026年10月1日

「令和8年熊本地震」の影響

- 自社ブランドPCB製造関連機器のサブストレート投影露光装置(ステッパー)が製造委託先の熊本県八代市の協力会社へ預託中に被災
- 現在、同社に預託、設置している当社の棚卸資産および固定資産の詳細な被害状況を確認中
- 当該資産の四半期連結貸借対照表上の計上額は以下のとおり

(百万円)

	主な内容	2027年3月期 第1四半期末時点
商品及び製品	ステッパー用投影レンズ、照明ユニット、本体など	1,340
有形固定資産	クリーンブース、クリーンルーム、架台、治具など	91
合計		1,432

今後の事業活動や業績に与える影響につきましては、
開示すべき事項が判明した時点で速やかにお知らせいたします。

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問合せ先
経営企画部 Tel.03-3225-8931